

ぐるめ散歩

……………カフェ……………
ナルト コーヒー
NARUTO COFFEE

自家焙煎した豆を使ったハンドドリップコーヒーと、自家製マフィンが味わえる。「一番おいしいコーヒーを（お客と）一緒に探す」をコンセプトにしており、浅煎りから深煎りまで好みの豆を注文でき、値段が一緒というのも特色。2人がけのテーブル4卓にオープンキッチンという店内は、コンクリート打ちっぴなしの壁と引き戸などを組み合わせた明るい雰囲気。

店主の菅康平さん（35）は、



菅さん

野川地区で電動カート まちづくり協議会が試験

野川まちづくり協議会（栗山正美代表）が11月17日頃から20日間に野川地区で実施した電動カート試験走行についてのアンケート結果をまとめた。

同会は、狛江市まちづくり条例に基づき、地域の課題解決のため住民と行政が協働でまちづくりを進めるために認定された「地区まちづくり協議会」のひとつで、令和3年発足。野川地区の交通の安全性、こまバスの利便性、商業施設不足解決など7つの課題解決をめざしている。

脱炭素社会に向けて、全国的に普及が期待されているグリーンスローモビリティを使用したカート試験走行はそのひとつで、公共交通機関が不足しているエリアの解消、商業施設



電動カート

自家焙煎したハンドドリップコーヒー 季節の素材を使った自家製マフィン



会社勤めのかたわら、9年前から出身地の徳島県鳴門市にちなんだ「NARUTO COFFEE」の名で都内のイベントでコーヒーと鳴門市のパン屋が作るベーグルを販売した。住居がある狛江市で、令和2年に和泉多摩川駅高架下のシェアキッチンで約10カ月間営業したことをきっかけに、現在の店舗を

Mshop@narutocoffee.com 東和泉3-9-6パールシティ山口102 営業：平日午前8時～午後7時（土・日曜・祝日は午後6時）、火曜日休み



見つけて3年に開業した。

菅さんが豆の焙煎を担当、マフィンは主に菅さんの妻とスタッフが季節の果物やマーマレードなどを使って焼いている。

徳島県から取り寄せたすだちはちみつジュース、いろいろな具材が入ったベーグル、コーヒー豆の販売も人気だ。

菅さんは「世界各国の産地のコーヒーを扱っているの、ぜひ味わってください」と話している。

おすすめMENU

- ⑥ハンドドリップコーヒー¥500 / ⑤すだちはちみつジュース¥550 / ダーグリーン紅茶¥550 / マフィン=①ダブルチョコチップ¥280 / ②金柑とチョコ¥350 / ③紅茶とマーマレード¥300 / ④バニラシュガー¥270 / ベーグル¥250～330（税込み）

心「小回りがきいて良い」など好意的な意見が寄せられた。

同会では、アンケート結果をまとめて市に提出するほか、他の地域での走行も検討している。

拉致問題見つめ直そう 「めぐみへの誓い」上映

拉致問題を扱った映画「めぐみへの誓い」（野伏翔監督）が26日午後2時30分からエコルマホールで上映される。

家族と地域の絆を大切にすると狛江市が共催する。当日は東久留米市に住む特定失踪者家族会の矢島文恵さん（69）が、現在の富山県射水市にあった実家付近で49年前に拉致されたと思われる兄の荒谷敏生さんや、長期間手がかりが得られない家族の苦しい心情など実体験を語る。入場無料で予約不要。対象は小学校高学年以上。

問い合わせ ☎090-3478-0435 辻村。



どんど焼き

新年祝い初春まつり

狛江市の新春を彩る「こまえ初春まつり」が1月8日回に催された。

出初式◆狛江市消防団の出初式が多摩川緑地公園グラウンドで催され、木遣りやはしご乗り、消防団の操法演技、カラフルな一斉放水などが行われた。

どんど焼き◆狛江市ボーイスカウト連絡協議会が主催する小正月行事のどんど焼きが多摩川緑地公園グラウンド下流で催された。竹やカヤなどで組んだ高さ約10mの小屋が大きな炎

と煙に包まると詰めかけた人たちは大きな喚声を上げていた。

狛江Market◆ぼかぼか広場でコマエノミライ主催の狛江Marketが開かれ、小田急電鉄、自衛隊、狛江消防署などの展示ブースやFC東京のシューティングゴルフ、市内の飲食店など物販ブースが設けられた。家族連れなどでにぎわった。

ロードレース◆第53回狛江多摩川ロードレース大会は多摩川堤防上の五本松付近を発着点として開か



多摩川ロードレース

れ、小学生から高齢者までが堤防上の1km、2km、3km、5km、10kmのコースに分かれて健脚を競い、560人が完走した。10kmの部には、大学駅伝3冠を達成した駒澤大学陸上競技部の選手3人もゲスト参加してレースを盛り上げた。

沿道には応援や見学の人も多く、盛んな声援を送っていた。ランナーたちは「おだやかな天気で走りやすかった」「駒澤の選手の伴走がうれしかった」などと話していた。

初の「二十歳を祝う会」 脱・セijinシキめざす

狛江市二十歳を祝う会が1月9日回に催された。成年年齢が18歳に引き下げられたことにともない、従来の「成人式」の名称を変更し、会場もリニューアルされたエコルマホールで3年ぶりに開催された。

今年の対象者は約700人で、式典には374人が参加した。

式典では、松原俊雄市長が「狛江市は小さな街ですが、市民同士が顔の見える関係を築きやすいなど市の魅力になっている面もあります。ぜひ狛江で生まれ育ったことを誇りに思ってください、地域のために力添えをしてください」とはなむけの言葉を贈った。これに答え古川智也さんと村田莉穂さんが「周りの人に感謝の気持ちを忘れず、困っている人を自ら助けられる人、これまで支えてくださった人たちに感謝し、恩返しできる人になれるよう日々謙虚な気持ちを忘れずに精進します」と誓いの言葉を述べた。

アトラクションでは中学校時代の教師のメッセージなどの映写やクイズで盛り上がった。式典の様子はYouTubeでも配信された。



誓いの言葉を述べる古川智也さん（左）と村田莉穂さん

式典は20歳の参加対象者15人で構成する実行委員会（榎本悠人委員長）が「シン・セijinシキ」と銘打って、準備や当日の運営を担当した。実行委員たちは「委員それぞれが得意分野を生かし、参加者を飽きさせないよう努めました。成功して良かった」と話していた。

親子でアグリ参加募集 ジャガイモと枝豆栽培

JAマインズが農業体験「親子でアグリ」の参加者を募集している。都市農業への理解や食農教育が目的で、猪方3丁目にある畑でジャガイモと枝豆を栽培して収穫する。日程は3月11日田施肥・畝づくり・ジャガイモ植え付け、4月8日田除草作業、枝豆種まき、6月24日田収穫・片付けの3回（天候などにより日程の変更あり）で、初回のみ午前9時（予定）にJAマ

インズ狛江支店に集合する。

対象は狛江市在住の幼児・児童とその保護者で、定員10組（応募多数の場合は抽選）で、参加費は1世帯1,000円（傷害保険代、種・肥料代等）。

申し込みは2月20日回までに電話（☎3488-3435）またはファクス（FAX3488-2830）でJAマインズ狛江支店経済指導部門へ。

沖縄音楽をテーマに おんまちラボ第2弾

音楽についての様々な知識を学ぶ講座「おんまちラボ」が開かれる。昨年度に続く第2弾として「沖縄音楽はチャンプルー～その歴史と背景～」と題し、1月27日回「古典音楽と組踊り」を皮切りに2月24日回「エイサーは盆踊り?」、3月17日回「『廃藩置県』から現代まで」を開講、沖縄研究家の高山正樹さんと音楽の街一狛江エコルマ企画委員会の委員らが講師を務める。

時間はいずれも午後7時～8時、会場はエコルマホール6階展示多目的室。定員先着50人で参加費1回500円。問い合わせ・申し込み ☎3430-4106（一財）狛江市文化振興事業団。